

ガーデニングから広がった 街や人との豊かな交流

念願の田舎暮らしで 出会ったEMの魅力

山形市から南へ車で約1時間、最上川をはじめ3つの大きな川が流れる自然豊かな長井市で遠藤かつゑさんが田舎暮らしを始めたのはおよそ11年前のこと。「美容師の仕事がリタイア後、孫を育てながら花を育てたいという思いと、郊外に広い庭を手に入れ、イギリス風のナチュラルガーデンをつくりたい」という夢をかなえるため、この地に移り住みました。季節のハーブやワイルドフラワーが美しい遠藤さんの庭は、一般の人も見学が可能なオープンガーデン。その評判が広がっていく中、遠藤さんの家を訪れた知人から「花づくりがいいよ」と教えられたのがEMという存在でした。「出会ったのは3年ほど前ですが、植物はもともと健康や住まいの環境にとってもすばらしいものだと思感し、すっかりはまっています」と遠藤さん。米のとぎ汁発酵液を使ってお掃除、「EM・X GOLD」と「EM蘇生海塩GOLD」にヤドリ



ギを加えた自作のドリンクなど、暮らしのさまざまなシーンに楽しくEMを取り入れ、庭を訪れた人びともその素晴らしさを伝えていきます。



自家採種で草花を増やしています。これもEMですこやかな環境となった庭ならではの。

長井市の緑化を ボランティアで応援

周囲を山に囲まれ、豊かな川の恵みを受ける長井市のスローガンは「水と緑と花のながい」。この街では市民参加型の緑化も積極的に行われています。そんな中、遠藤さんはボランティアとして市役所に隣接する約100坪もの土地の緑化に協力、街の顔である場所を潤いある空間に作

り上げています。また、道路わきの緑化や、市民のガーデニングの場として開放されている河川敷の公園でも庭づくりにも参加しています。EMで育った植物たちの元気の良さは、そうでない区画と比べると一目で違いは明らか！ガーデニングのさまざまなコンクールでも入賞している遠藤さんのもとには「庭づくりのコツを教えてください」という声も多く、ここからまたEMの評判が口コミで広がり、活動の輪も広がっています。



お庭の見学者には、手作りのお菓子やお漬物でおもてなし。お漬物はEM蘇生海塩GOLDを使って漬けています。

自宅に開いたショップは 楽しい語らいの場

現在、遠藤さんは自宅の庭を開放するとともに、庭のかたわらにはEM関連商品を扱うショップも開いています。「私のもうひとつの趣味である手作り小物も販売しています。思い出深い古布を、EMを使い、バック等に仕立て直すことで古布が生き続けます。地元の特産である長井紬(つむぎ)でも、EMセラミックスやEM・X GOLDを使用してバックを作っています。」さらに来店客から注目を浴びているのが、遠藤さん手作りのEM・X GOLD配合の廃油せっけん。なんと1ヶ月で500〜1000個も製造出荷しているとのこと、一部は地域の福祉施設などにも配布されています。「ショップというよりは、お庭を見に来ていただいた方々にちよつとお茶でも飲みながらくつろいでもらえれば、というスペース。庭を眺めながらおしゃべりしていると自然に園芸や自然環境の話になりますし、そこからEMのことが話題にのぼるんですよ。」個人的な趣味で始めたガーデニングも、いまや地域や人のつながりを豊かなものにしていく場に。EMはその交流をどんどん活性化させる大切な柱となっているようです。



市役所に隣接するスペースを緑の癒し空間に。



河川敷にある市民庭園の緑もEMでこんなにすくすく。



さりげなく置かれている水がめの底にはEMセラミックスが。泳いでいる金魚も気持ち良さそう。



EMセラミックス入り「EMせっけん」をタンクで溶かした手作り液体せっけん。近所の方が自由に取りに来て利用しています。



【上】語らいの場にもなっているEMショップ。【下】店内には遠藤さんオリジナルの長井紬の小物(EMセラミックス入り)やバッグも。



ピアノに合わせて歌を披露する遠藤さんの愛犬。ほらかな性格はEMセラミックスのお水を与えているからかもしれません。



誰でも気軽に見学ができる遠藤さんの庭。春から秋まで宿根草が次々と花を咲かせ、訪れる人をやさしく癒してくれます。



EM ガーデン花・花
遠藤 かつゑ さん
ガーデニングコーディネーター
「花と緑環境の会」会長
「環境 U-Net やまがた」 副理事長